

教材分析シート

(4)年(月)組 授業者(桂 貴人)

教材名

「正直」五十円分 (文溪堂)

内容項目

正直・誠実 A (2)

ねらい

主人公の気持ちを考えることを通して、正直・誠実な行動を取ることの大切さに気づき、正直に行動しようとする道徳的心情を育てる。

① 主人公

(道徳的に最も大きく変容した人物)

たけし

② 助言者

(主人公の変化に重要なヒントを与える人・モノ)

自分の心の声

③ 場面分け (主人公を主語にして分ける)

Before (道徳的な変化前)	たけしはおつりが少ないことに気づき、おつりを返してもらいに行った。
助言者の登場	たけしは、黙ってたこ焼きを食べながら考えた。
転 (道徳的変化) After (変化後)	たけしは、おつりを返しに行った。

④ 一文読み (要約)

たけしは多かったおつりを返しに行くかどうか葛藤するが、自分の心の声を聴いて、おつりを返しに行くことを決意し、正直であることの清々しさを感じる話。

⑤ 発問 (3種類の質問)

Before の発問 (道徳的問題を明らかにする)	→内容理解の発問「主人公の道徳的問題は何か？」 おつりが少なかったとき、たけしはどんなことを思っていたでしょう。
「転」又は After の発問 (主人公の気づきに迫る)	→中心発問「主人公は何に気づいたのか？」 黙ってたこ焼きを食べていたとき、たけしはどんなことを考えていたでしょう。
補助発問 (あれば)	悩んでいたたけしは、どうして返しに行こうと思ったのでしょうか。
価値追求の発問 (道徳的価値をおさえる) (テーマにかかわる発問)	→おさえの発問(「〇〇って何だろう?」、手紙、ふり返し等) 「正直」50円分のたこ焼きがおいしく感じられたのはどうしてでしょう。